FDプログラム認証申請シート

申請日：　　　年　　　月　　　日

**Ⅰ．機関名**

**Ⅱ．ＦＤプログラムの基本情報（詳細については、別途添付資料等で対応することも可）**

1. 名称
2. 主な対象とねらい
3. ＦＤプログラムの概要

（例：日程、プログラムの構成、主な内容、学習成果の提示や評価の方法の有無など）

1. 担当部局の構成、学内位置づけ

**Ⅲ．認証の観点（ ＦＤプログラムについての貴学の基本的な考え方と位置づけ）**

|  |
| --- |
| 0. 貴学にとって、当該のＦＤプログラムが必要である背景や文脈はどのようなものですか。 |
| ・意図：日本の場合には大学設置基準第25条3項において「授業内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究」の実施が義務化されているものの、その内容は具体的に示されていない。そのため、機関自身の必要性の背景や意図を明らかにする。なぜ必要なのかを参加者とも共有することは、参加の動機づけにも関わる。・機関がプログラムを重要と考える理由　・参加者が参加する意義や必然性など（人事事項やキャリア開発との関連など） |

|  |
| --- |
| 1.貴学のＦＤプログラムの基本的理念はどのようなものでしょうか。 |
| ・目標（目指す教育者像（例えば「プロフェッショナルとしての教育者」）、大学設置基準第14条「教授の資格」における「大学における教育を担当するにふさわしい教育上の能力」との関連、機関のFD方針や教育理念との関連なども） |

|  |
| --- |
| 2. ＦＤプログラムの妥当性・正当性はどのようになっていますか。→「JAED基準枠組」を用いたチェック表への記入もお願いします。 |
| ・プログラム内容は機関の必要性を反映しているか、どのように必要性を汲み取っているか。・プログラムの意図する学習成果が、「大学での教育力」に相応しいと言える根拠。例えば、JAED基準枠組、あるいは、それに相当する基準との関連性など学術的な根拠。 |

|  |
| --- |
| 3. ＦＤプログラムおよび学習成果の評価のプロセスが、参加者にとって、目指す教育者像への成長を促すものとなっていますか。 |
| ・目指す教育者像が「プロフェッショナルな教師」であれば、「ティーチングポートフォリオを通して、省察的な実践を行なう」「授業公開と検討会の実施を通して、取り扱う知識内容を批判的に考察するようになっている」などの説明。学術的なアプローチが重視されているか。 |

|  |
| --- |
| 4. 参加者の学習成果の評価の妥当性を保証する方法にはどのようなものがありますか。（合・不合格など成果を評価している場合、外部評価等の方法や、評価結果への不服申し立ての機会等） |
| ・参加者の学習成果の評価についての質の保証を意図。 |

|  |
| --- |
| 5. ＦＤプログラム遂行のために、どのようなリソースや体制が確保されていますか。  |
| ・例）実施体制（機関内の責任および協力体制）、財源（持続性）、学習環境（物理的、時間的）等の適切さ |

|  |
| --- |
| 6．ＦＤプログラムの質や意義を、どのように評価し保証（改善）しますか。  |
| ・プログラム実施後の改善のための評価や検討の方法（参加者や関係者の意見の反映なども）、プログラムの意義についての周知や参加機会の平等性を高める努力など。計画と実施状況、評価検討にかかわるエビデンスリスト） |

**Ⅳ．添付資料**提出するすべての資料名を記載してください。例えば、プログラムの概要、リソース（使用する学習教材一式や他の教材等）、妥当性確認資料、参加者用ハンドブック、プログラムスケジュール（ワークショップや授業実践のプラン等）、質保証プロセスのエビデンス（参加者のフィードバックや外部評価者によるレポートやそれと同等のもの等）、アクションプラン等。

資料リスト：

※提出時には青字の部分は削除して提出してください。